

びすけっと通信

GUNMA BISCKETTO NEWS "微助っ人"の輪を広げる 支え合いの地域づくり

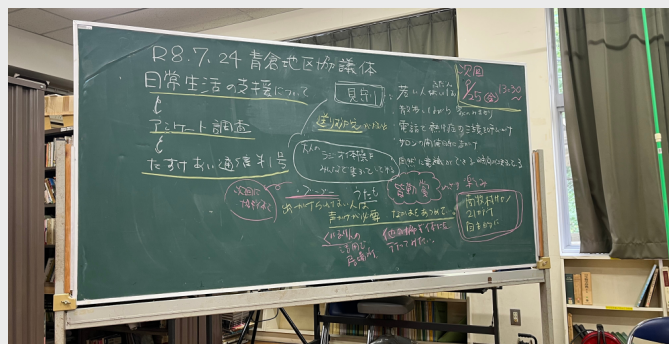
今月の報告

下仁田町

アドバイザー派遣を実施しました！

下仁田町よりアドバイザー派遣の依頼を受け、アドバイザーの目崎様に派遣していただきました。

事前打合せではZoomを活用し、下仁田町行政担当者・社協担当者が抱える課題や悩みを共有しました。「アンケートは実施したものの、この先どのように活動を進めていけばよいのか」という相談に対し、「アンケートで困りごとを把握して終わりではなく、地域にいる"元気な高齢者"にも目を向けてほしい」との助言がありました。散歩やグラウンドゴルフなどで日頃から活動している方々は、地域の支え合いの担い手となる可能性があります。実際に活動の場へ出向き、見守りなど地域でできることについて相談してみることが、新たな活動の一步につながるのとことでした。



Zoomでの打合せを踏まえて、7月24日には県社協職員も協議体に参加し、話し合いの様子を見学しました。協議体では「こんな活動をしている」「こんなことができるのではないか」といった前向きな意見が活発に交わされておりました。こうした地域の声を生活支援コーディネーター（支え合い推進員）がどのように拾い上げ、次の活動につなげていくかが重要なポイントとなります。

次回の協議体は9月に開催予定です。今回出た住民の声がどのような話し合いにつながるのか、今後の展開が楽しみです。



中部ブロック 情報交換会

今回の中部ブロックでは、生活支援コーディネーターへの「お困りごとアンケート」をもとに、テーマを「居場所」として意見交換を行いました。各市町村から地域の実践事例が紹介され、地域ニーズへのアプローチや、多様な主体との連携、活用した社会資源などについて共有しました。

ファシリテーターからは、「居場所をつくること」が目的ではなく、地域ニーズを出発点として、多様な主体と連携しながら活動が生まれるまでのプロセスを見える化することが重要であるとの助言がありました。今後も、市町村やブロックを越えて実践を共有し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、支え合いの仕組みづくりや担い手づくりなどについて、皆さんとともに学び、考えていきましょう。



視 察 報 告

第2層協議体住民メンバー向け勉強会

高崎市
2026.7.22



ブロック別情報交換会で高崎市より勉強会開催のお話を伺い、県社協も見学させていただきました。当日は、新任メンバーだけでなく、長年活動している協議体メンバーも多く参加していました。高崎市長寿社会課横山様からは、生活支援体制整備事業の目的や高崎市が目指す地域づくりについて、図やパワーポイントを用いながら丁寧な説明がありました。また、第1層生活支援コーディネーターである小川様・目崎様からは、協議体の役割や地域で活動が生まれるまでの経緯、実践事例がイラストを交えながら紹介され、「なぜ協議体が必要なのか」が参加者に伝わる工夫が随所に見られました。情報交換の時間には、経験年数に関わらず活発な意見交換が行われ、参加者同士が学び合う姿が印象的でした。協議体メンバーへの丁寧な働きかけや、分かりやすく伝える工夫は、多くの市町村でも参考になる取組だと感じました。高崎市ホームページでは、「SC通信」をはじめ、第2層協議体の活動や地域づくりの取組を紹介するYouTube動画も公開されています。活動が始まったきっかけや地域での工夫など、参考になる内容がたくさん掲載されていますので、ぜひご覧いただき地域づくりのヒントとしてご活用ください。



県社協担当者からのメッセージ

「生活支援コーディネーター活動状況・ニーズ調査」アンケートへのご協力ありがとうございました！

23市町村・54名の皆さまからご回答をいただきました。

「担い手の確保」や「協議体の運営」に関する悩みが多く寄せられたほか、他市町村SCとのつながりづくりの必要性も見えてきました。いただいたご意見をもとに、今後のフォローアップ研修や情報交換会を企画していきます！

NEWS / 行政向け研修

行政向け研修会の申込みを受付中です！

現在、16市町村・46名の皆さまにお申込みいただいています。

引き続き、行政・包括・社協の皆さまにぜひご参加いただき、地域を支える仲間として一緒に学び、考える機会にできればと思います。

申込締切は8月28日です。皆さまのご参加をお待ちしています！

【日時】9月4日（金）13：30～
【会場】群馬県生涯学習センター
【講師】田中明美先生
（桃山学院大学准教授／
奈良県福祉政策アドバイザー）



発行：群馬県社会福祉協議会地域福祉課
生活支援体制整備事業担当者：吉村・木村
TEL：027-255-6032

NEXT ISSUE
2026 8月号



次号は、とある村の居場所へ！
地域の素敵な取り組みをお届けします